

# 矢上の風

3月号 令和5年3月24日発行



**【校訓】**  
主愛磨勞  
自友練勤

## 透明なガラス

校長 川口 孝

生徒会の本部役員が、毎朝、あいさつ運動のため正門に整列して、登校してきた生徒達にあいさつを行っています。去年の生徒会もそうだったのですが、この頃になると、どうも、あいさつ運動に身が入っていないように映ります。およそ最初の頃の、やる気に満ちた姿はすっかり陰を潜めてしまっています。今年の冬はとても寒い日が多く、そんな中、生徒会の本部役員は制服で立ち続けてくれました。寒い日も、雨の日も、遅刻することなく、この活動は、称賛に値するものです。では、活動の停滞の原因はどこにあるのか、そう考えていた時に、ある実験のことを思い出しました。

水槽の真ん中に透明なガラスの仕切りを作り、一方に数匹のカマスを入れ、もう一方にカマスのえさとなる小魚を入れました。カマスはえさを食べようと何度も突進しますが、ガラスの仕切りにぶつかってはね返されます。何度も何度も繰り返すうちに、カマスはあきらめてしまいます。その後、透明なガラスの仕切りを取り除いても、カマスは決して小魚のいる方へは行こうとしないそうです。カマスは、透明なガラスの仕切りに何度も阻まれるうちに、だんだんやる気をなくし、ついには餌を追わなくなってしまいました。

みなさんは、生徒会のあいさつ運動にどのように応えていますか。来る日も来る日も、正門に立ち続け、あいさつをする生徒会役員に、同じような声であいさつができていますでしょうか。相手からの反応が薄い状況が毎日のように続くと、さすがにモチベーションも下がることでしょうか。もちろん、気持ちよくあいさつを返してくれる生徒も沢山います。しかし、ごく薄い反応で素通りに近い態度で通り過ぎる生徒も確かに多い。つまり、そういう態度が、「透明なガラス」の役割になってしまっているのではないでしょうか。

実験後、無力感に襲われていたカマスですが、新しいカマスを入れると、そのカマスは勢いよく小魚に突進します。それを見たそれまでのカマスは、我を取り戻し、また同じように小魚に突進することができるのだそうです。なんだか、みなさんをカマスやガラスに例えて申し訳なかったですが、4月から、生徒会役員は正門でいつものようにあいさつ運動をすることでしょうか。学校は、水槽ではなく、生徒一人一人が、互いを思いやり、気持ちよく過ごす場所です。新年度から、一日のスタートをまずは校門で、お互いに、「にこやかに」、「目を見て」、「伝わる声」で、気持ちのよいあいさつを交わすことからスタートさせましょう。

## 受賞おめでとう！

※敬称略

第32回「椋鳩十文学記念館賞」全国読書感想文コンクール	入選	東（3年）
明るい選挙啓発ポスターコンクール	県入選	濱田（3年）
第24回南九州かわなべ青の俳句大会	特選	村山（2年） 津曲（2年） 福富（2年）
	入選	坂口（2年） 住本（1年） 武元（1年）
第66回 JA 共済小中学生書道コンクール	条幅の部・銅賞	奥園（2年）
	条幅の部・佳作	住本（1年）
	半紙の部・銅賞	奥園（2年）
第4回芭蕉白河の関俳句賞	奨励賞	吉村（3年） 山下（2年） 二石（2年） 諏訪（1年） 西川（1年） 畑中（1年） 野中（1年） 政（1年） 住本（1年）
第49回県吹奏楽アンサンブルコンテスト	金賞	吹奏楽部
第36回感動作文コンクール	優秀賞	池田（2年）
第56回県中学校音楽コンクール春の祭典	金賞	2年1組
第8回ひろがれ未来へかごしま絵手紙コンクール	奨励賞	福富（2年）
	入選	高橋（3年）
第37回県児童生徒ゆめ立体・彫刻展	入選	稲留（2年） 田邊（2年） 武（1年）
第7回南さつま市「日新いろは歌」短歌大会	佳作	上野（2年）
第23回若山牧水青春短歌大賞	佳作	古野（3年）
第48回九州吹奏楽アンサンブルコンテスト	銀賞	吹奏楽部
第2回さつまっ子交流なごなた大会	優秀選手賞	田邊（2年）
第63回自然科学観察コンクール	3等賞	二石（2年）

## クラスマッチ

1年生が3月2日（木）、2年生が3月3日（金）、3年生が3月9日（木）に行いました。3年生は、競技だけでなく応援も楽しそうでした。



## 同窓会入会式

3月10日（金）に同窓会長の川崎さんが来校されて、同窓会入会式が行われました。卒業生にはなむけの言葉をいただきました。



## 第44回卒業式

3月14日（火）の卒業式では、全員合唱を行うことができました。3年間、何かと自粛を強いられた卒業生たちの最後の姿は、本当に立派でした。



## おいしい給食

栄養教諭や給食技師さんたちが毎日愛情を込めて調理してくださっています。お陰様で今年度も残食が少なかったです。ごちそうさまでした。

